

事務事業名	環境審議会運営事業		所属部局	市民部	単位番号	2096					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	小笠原良仁					
			所属担当	環境保全・自然エネルギー担当	担当者名	河野慎介					
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		20	快適生活環境の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> その他の事業					
施策		33	生活環境の保全								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					法令根拠	南アルプス市環境基本条例			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市における環境保全対策に関する市長の諮問機関として設置され、その庶務を環境課で執っている。審議会は20人以内の委員で組織され、関係行政機関の職員及び知識経験のある者のうちから市長が委嘱。審議会の開催(通知、資料等の作成、関係課との協議、調整)。委員報酬の支払い。			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				委員報酬	71			計	71		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 : 審議会の開催(環境基本計画の進捗状況報告) 27年度活動予定 : 審議会委員の改選 審議会の開催(環境基本計画の進捗状況報告)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	環境審議会委員
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	環境関連課題への諮問等に対し、活発な意見、議論による審議が図られる
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	現在及び将来の世代の市民、事業者及び滞在者が健康で文化的な生活を営むことのできる良好で快適な環境の確保に寄与する

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 アイウ ア 審議会開催回数 単位 回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 アイウ ア 委員数 単位 人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 アイウ ア 委員の出席率 単位 %
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 アイ ア 公害苦情件数 単位 件

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他一般財源	千円	190	213	71	334	334	334	
事業費計(A)		千円	190	213	71	334	334	334	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	320	320	320	320	320	320	
	人件費計(B)	千円	1,456	1,456	1,456	1,456	1,456	1,456	0
(A)+(B)		千円	1,646	1,669	1,527	1,790	1,790	1,790	0
活動指標	アイウ	回	2.0	3.0	1.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標	アイウ	人	19.0	18.0	18.0	20.0	20.0	20.0	
成果指標	アイウ	%	95.0	80.0	77.8	100.0	100.0	100.0	
上位成果指標	アイ	件	51.0	47.0	49.0	49.0	49.0	49.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併当初から環境審議会条例により設置、その後、H20に制定した環境基本条例の規定に基づいて設置している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	地球温暖化、環境全般に対して問題意識は高まっている。又、東日本大震災に伴う原発事故による環境汚染、電力不足から自然エネルギー利用への転換など今後さらに環境という分野は重要なものになっていくと予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	年報酬から会議出席回数による報酬に改善した。H24年度には、「環境基本計画」における進捗状況の報告を実施した。基本計画に掲げた基本目標への取り組みについて所管課からの報告をまとめ「環境審議会」において評価をうけ、公表した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	H24年度から実施しているが、審議会資料を事前に送付し、当日の審議会での活発な意見、審議を図ることを心がけた。

事務事業名	環境審議会運営事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 当審議会は環境の保全及び創造に関する事項等において調査、審議する機関であり政策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 本市の環境保全及び創造に関する基本的事項について調査、審議するため南アルプス市環境審議会を設置している。また、市長の諮問機関として必要に応じて審議会を開催するため妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 環境保全及び創造に関する事項において、調査審議する機関であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 会議日程の早い伝達、会議資料を事前送付すること等により、委員の出席率や意見の向上を図る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 本市の環境保全に関する調査審議する唯一の機関であり、休止・廃止すると業務へも支障が出る。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 本市の環境保全に関する調査審議する唯一の機関であるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費は委員の報酬であるため削減余地はなし。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 環境基本条例に基づき、本市における環境の保全などの基本的事項についての審議会であるため、正職員の業務であり削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 審議会の運営という事業から、公平公正に行われている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成22年度策定の環境基本計画の進行管理の報告を昨年度に続き行った。環境基本計画に掲げた基本目標を達成するための事業内容の報告及び公表である。H26年度は、2回目ということもあり、施策を実施する所管課からの進捗状況の報告については、理解を得られていることを実感している。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・環境基本計画の進行管理の報告について所管課との連携を図る ・リニア中央幹線建設計画における「環境影響評価法」の手続きについての審議会との調整																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					